



# にじのはし

学校だより

豊かな心を持ち夢や目標に向かって自ら考え取り組む児童の育成を目指して



発行日  
R5.10.31  
発行者  
新垣 典彦

## 自主的にチャレンジ



9月29日(金)には、**地区音楽発表会校内オーディション**を開催しました。総勢30名近くの子供達**が自ら応募**しており、重奏・重唱・独唱・合唱など様々な形で学校代表を目指してチャレンジしました。(写真に映っていない所にも大勢の子)  
「まずは、やってみること」「やってみなけりゃ、何も始まらないし、何も残らない」話の中で私がよく使う言葉ですが、オーディションに参加した**自主性を持った多くの子ども達**を校長として誇りに思います。中には、声の小さい子、緊張して笑顔の少ない子もいました。**それぞれのチャレンジの中で課題もよさも含め必ず何かを学んでいます**。それを自ら振り返ったり、周囲からの承認や励ましを通して、自分の強みや弱みを自覚し自己肯定感や自己存在感を確固たるものにしていくのでしょう。**一歩踏み出しチャレンジした子ども達に労いと大きな拍手を送ります**。よく頑張りました。

## 自主性を伸ばす行事

まずは**5年生の宿泊学習(7月)**ですね。私も団長として参加しましたが、**実施前と実施後では顔つきから違います**。初めて親元を離れ宿泊しながら規律ある行動や他者と協力して活動する体験となり

ますからね。特に、それぞれの班に別れ、励まし合いながらの登山やカレー炊飯は、辛い場面や不安になりながらも子ども達なりの知恵と工夫で頑張っていましたよ。大人は、たとえご飯のこげが心配でも口出しせず見守り、質問があってもヒントを返すなどし、**子ども達は自身で考え判断し行動する面白さや責任を実感した**と思います。



続いては、**6年生の修学旅行(9月)**ですね。残念ながら、出張と重なり団長としての参加はできませんでしたが、仕事を終わるとすぐに本部へ向かいました。間に合ったのは20時からの「出し物大会?」でした。**歌やダンス、お笑いなど、個性あふれる出し物に驚き、すべてが自主的な参加**というから頼もしい。思わず代表の子と握手をしました。(教員1名参加もいいね)

司会も活躍





## 火災、地震・津波

7月6日(木)には、火災の避難訓練を実施しました。5月の不審者対策を含め、学校での訓練は毎年3回ありますが、毎年気になります。「地域・家庭で



は話し合いが行われているか？」

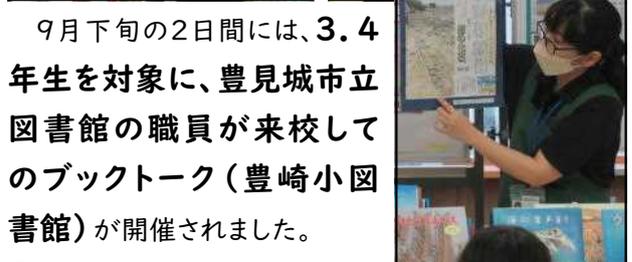


地域(家庭)「不審者に対してどう対応するか」「地震や津波での避難先(集合)は決めているか」近年、沖縄近海の有感地震は多くなっていると思いませんか?「自分の命を守る行動」を教えるのは、保護者が一番だと思います。一番身近な大人で信頼してますからね。11月には、地震・津波の避難訓練を実施します。この機会を是非とも活用して確認して頂きたい。石垣島(明和の大津波)では、マグニチュード8.0で、津波の最大遡上高30mに達したと考えられています。その時の岩



宮古下地島の津波石(高12.5m)

## ブックトーク進化系?

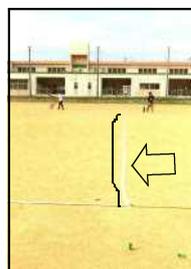


9月下旬の2日間には、3、4年生を対象に、豊見城市立図書館の職員が来校してのブックトーク(豊崎小図書館)が開催されました。「岡波島のクジラの化石」につ



いて、体長をカラーテープで体感させるなど豊見城周辺の情報で興味・関心を高める工夫があり思わず私も長居してしまいました。

## 11月3日は何の日



いよいよ令和5年度の運動会開催の日が迫ってます。白線も当初(左写真)より上手くなって、各学年の練習風景を見ていると本番が楽しみになりますね。

子供達も親も地域も職員も一緒になって盛り上がる運動会は、来年になりそうですが、子供達のテーマ「思いやりで絆を深め何事にも全力で取り組む七色の笑顔あふれる豊崎っ子」に向かって輝ける運動会にしていきたいと思います。力強い応援とご協力よろしくお願いします。